

3歳児クラス 8月 第3回 「くれよんのくろくん」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：「♪なんのいろ～なんのいろ」とリズミカルに歌いながら保育室にある具体物の色を問いかける。色に興味を持ったところでクレヨンを提示。「クレヨンには色がいっぱい！色の名前、全部わかるかな？」と1本を選び、色の名称クイズを出す。正解を子ども達と復唱しながら数問を繰り返したところで「今日はくろくんのお話です」とお話をスタートさせる。 ※子ども達のクレヨンを事前に机の上に準備しておき、子ども達と一緒に確認しながら進行しても良い。 ※特に水色・橙・黄緑・灰色・紫・黄土色などの中間色は、この時期に認識して欲しい色です。 	<p>教材</p> <p>★絵本 ★iPad(シアターセット)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ①身近な「クレヨン」「お絵描き」のストーリーを通して、わくわく気分を体感できるように読み進める。 ②「くろくん」の気持ちになって、仲間に入れてもらえない悲しい気持ちが伝わるように読み進める。 ③途中、くろくんが仲間はずれになる場面で「みんなはどう思う？」や、クレヨン達が騒がしくなった時は「どうしたのかな？」と子ども達に問いかけ、考えさせながら読み進めるのも良い。 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入では色に戸惑う子の補助 子ども達と一緒にになってお話を楽しむ 	

がくしゅうタイム

活動①	ねり	描く	「絵描きリズム」に合わせて楽しくひまわりを描くことができる	なし
読み方	ひまわりの花を「絵描きリズム」の歌に合わせて楽しく描いてみましょう			
読み方	<ul style="list-style-type: none"> 講：「みんなの周りには色々な色がいっぱいあるね。だからクレヨンのどの色も、仲良くいっぱい使ってあげようね。先生もお絵描きしたくなっちゃったなー」 保：「♪まるいおいかけありました♪」楽しそうに提示用に描いたひまわりの絵を持って登場。 			<p>教材</p> <p>模造紙 (6人に1枚) 提示用模造紙1枚 絵描きリズム指示書 (ひまわり) ★クレヨン ※絵描きリズムの「ひまわり」を提示用にコピー用紙に1枚描いて準備する</p> <p>保育士の役割</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「楽しそうにどうしたの？」 保：「クレヨンで絵を描いてみたの。じゃーん」とひまわりを見せる。 講：「わ！素敵！！大きなひまわり！」 保：「みんなの大好きな絵描きリズムで歌いながら描いてみたんだ」 講：「良いなー、先生も描いてみたいな」 保：「そう言うと思って、ジャーン！」と提示用模造紙を広げて見せる。 講：「凄い！大きな紙！こんなに大きな紙に描いていいの？」とクレヨンを準備し、「頑張るぞー」と子ども達と一緒に絵描きリズムの歌を歌いながら、大きく『ひまわり』を描いて見せる。「みんなも描いてみようか？」と意欲を引き出し、模造紙が広げられる様に環境を整えてから、子ども達の活動に進む。 ※できれば床に大きく紙を広げて囲む様なフォーメーションが望ましい。 状況が許せばシアタータイムから机無しの状態で行っても良い。 ※模造紙はグループごとに別れるか、又は大きく貼り合わせるかは自由。貼り合わせた場合は模造紙の上に乗って描いても良しとする。(但し床での活動の場合、あぐらや、寝そべる様な姿勢には気を付ける) 子：指示された場所でクレヨンを準備して、先ずは『ひまわり』の絵描き歌からお絵描きを楽しむ。 講：一度（できれば紙を掲げて）子ども達が描いた絵を見せ、お部屋が『ひまわり畠』になったことを称賛して<活動②>へ進む。 			
活動②	ねり	表現	色々な色を使ってダイナミックに描くことを楽しむ	なし
読み方	ひまわりの周りに自由に絵を描いてみましょう			

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「お絵描き楽しいね。色々な色を使って、もっといっぱい描いてみようか？」 ・講：「ひまわりの花はどんな所に咲いているのかな？周りに虫さんも飛んでくるかな？綺麗だなってお友達がたくさん来るかもね」などと子ども達の創造力と意欲を搔き立てていく。 ・子：講師の指示を受けて模造紙のひまわりの周りに自由に絵を描いていく。色をたくさん使い、大きな紙面を使って好きな絵をダイナミックに表現していく。 ※「何を描くか？」にはこだわらず「グルグル、なーんだ？」「ビューン！風が吹いてきましたー」でも良い。ねらいにある「描くことを楽しむ」ことが大切です。 ※この時期は多色を使いこなすのはまだまだ難しい。単色で描き続ける子には「色変えてみようか？次は何色にする？」などと声をかけ、色も意識できるようにすると良い。 ・講保：指導するよりも楽しく描く姿を見せることも大切です。「ぐるぐる」「もくもく」「グリングリン」「ピュルルーン」「ピュー」…先生自身が子ども目線で見本を見せ、子ども達と一緒に描くことを楽しみましょう。 ・講：最後はクレヨンを片付けて鑑賞会。みんなが見えるように描いた絵は壁などに貼り「色がいっぱい綺麗だね！」と鑑賞会をして称賛し活動を終了する。 	<p>教材</p> <p>模造紙</p> <p>★クレヨン</p> <p>保育士の役割</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に描く ・描いた模造紙を掲示 ・称賛 	

数	「4個」の数の操作を理解する	教材
設問	「4個」のおはじきの操作。 (握った片手の中に)おはじきいくつ隠れてる？	おはじき
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 前回同様の活動です。理解度に合わせて1：3、2：2など両手に分けて持ち、片方の手の中を見せてもう片方に隠れたおはじきの数を考える。最後は「合わせて4個」を常に確認する。 	<p>保育士の役割</p> <p>・「4個」のおはじきを操作しクイズを出す。</p>

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	クレヨンを使う楽しさを意識しながら読んだか
活動①描く	床で絵を描く際の注意事項をきちんと子ども達に指導できたか。
活動②表現	ダイナミックに描く楽しさを伝えることが出来たか
数チャレ	クイズ感覚で行うことが出来たか（クラスに合わせて）

練習タイム♪

*** テーマ・描く ***

お絵描き大好き

●特別な準備は必要ありません。身近にある紙などを使って自由に描き、形にならなくても描くことを自由に楽しむことが大切です。

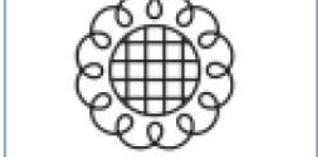
●意味のないものに見えて、この時期は「描いた後に意味づける」子どもも多く見られます。子どもの話に耳を傾けてみるのも良いでしょう。何を描いたか教えてくれますよ。そして描けた時にはぜひ褒めてあげてください。描いた絵を額などに入れて飾ってあげるのも子どもにとっては嬉しいものです。何より自信に繋がりますよ。



お絵描き上手になることは、線が上手に描けることもポイントなんです。横線、縦線、ななめ線、ぐるぐる、もくもく、ぎざぎざ線など。線の練習も合わせて行ってみましょう。

今月のえかきリズム

*** ひまわり ***



えかきリズムの動画は
こちら

→

QRコード

練習タイムの動画は
こちら

→

QRコード